

東京庄原格致会会報

第20号
2012年9月

発行人・合田良三
編集人・寺川勝海
印刷所・(株) クレスコアース
コミュニケーションズ

二十三年度

総会報告

平成二十三年度(第二十九回)総会並びに懇親会が昨年十月二十三日(日曜日)上野精養軒・日本橋店において盛會に催されました。四十八人の会員・同伴者の参加に加え、五人の来賓者の出席のもとに定刻十二時に八谷幹事長(三十五年卒)の司会で開始されました。冒頭、幹事長から会員数の現況報告と年会費納入の一層の協力依頼がありました。

次いで四人の会員の方の計報に対してご冥福を祈り黙祷がさげられました。

次に、合田会長(三十二年卒)からの現状報告と故郷のゲリラ豪雨と東日本大震災での絆の大切さ、当会の各活動への協力をお願いの言葉がありました。

その後、来賓代表として片山母校同窓会長から庄原市の近況や同窓会学校の活動状況を交えた祝辞があり、母校は新人生の定員割れの状況から他校との再編計画が進んでおり、存続のため「庄原格致高校教育振興協議会」を立ち上げ、学校・同窓会・地域をあげて取り組んでいるなどについてのお話を頂きました。

その後の議事では、寺川事務局長(三十七年卒)の事業報告・会計報告が行われ、近藤監事(二十八年卒)から適正に処理されているとの監査報告があり、満場一致で承認されました。

次に、役員改選の議決があり、合田会長が

再任され、副会長に迫田芳徳(三十四年卒)さん他の役員が選任されました。

その後、庄原市役所から参加頂いた西田財政課長から市の災害時のお見舞いに対してのお礼に加え、復旧状況報告、ふるさと納税への協力要請と尾道・松江線の口和及び高野町のインターチェンジ工事の二十五年度開通予定の話がありました。

第二部の懇親会は福場副幹事長(四十五年卒)の軽快な司会のもとで幕が切られ、出席者中の最年長者・坂井顧問(二十四年卒)の乾杯の発声でスタートしました。

食事も進んだところで、ご来賓の新井庄原実業同窓会東京支部代表並びに吉宮世羅高校東京校友会副会長からご挨拶を頂きました。

庄原市商工振興課から寄贈の地元産の日本酒・焼酎も入り、お腹も満たされた頃、恒例の郷土のお土産を賞品とした福引が女性陣の抽選で開始され、地元各地の産品を当てる喜びの声が広がりました。

その後、卒業年度ごとの同級生が集合して近況報告や自己PRにより会が盛り上がり、「あつもりさん」保存会の大岩さん(三十七年卒)をリーダーに三十七年卒組で「あつもりさん」の合唱が始まりました。

最後は、兼利顧問(二十八年卒)のリードで「校歌・応援歌」の斉唱の後、室伏顧問(二十五年卒)の発声で中締め、来年の再会を誓って散会になりました。

(事務局)



懇親会の様子



中締めをされる室伏さん



出席された皆さん

出席者名簿

片山孝昭	庄原格致高校同窓会会長
新井教亨	庄原実業高校同窓会
吉宮孝治	東京支部会計担当
西田英司	世羅高校東京校友会副会長
小林正治	庄原市役所財政課長
	東京広島県人会会議員拡大幹事
坂井昌彦	昭和二十四年卒(庄原本町)
滑年雄	昭和二十五年卒(本郷)
金森裕雄	昭和二十五年卒(総領)
室伏孝一	昭和二十六年卒(山内西)
佐竹幸二	昭和二十六年卒(川北)
三浦重造	昭和二十六年卒(比和)
保田治義	昭和二十八年卒(川北)
兼利卓蔵	昭和二十八年卒(西城)
盛谷智之	昭和二十九年卒(口和)
増山宏昭	昭和三十一年卒(山内東)
明賀馨	昭和三十一年卒(西城)
渡利治博	昭和三十一年卒(庄原)
飛谷安宣	昭和三十一年卒(本郷)
中田唯之	昭和三十三年卒(山内東)
生田八洲紘	昭和三十三年卒(本郷)
合田良三	昭和三十三年卒(山内北)
森沢進	昭和三十三年卒(山内北)
黒田正宏	昭和三十四年卒(山内西)
迫田芳徳	昭和三十四年卒(山内西)
米澤武則	昭和三十五年卒(門田)
清水正志	昭和三十五年卒(口和)
積山弘佳	昭和三十七年卒(比和)
八谷英樹	昭和三十七年卒(比和)
野口昭	昭和三十七年卒(比和)
天野皓昭	昭和三十七年卒(比和)
遠藤靖夫	昭和三十七年卒(比和)
大岩征子(花好)	昭和三十七年卒(比和)
寺川勝海	昭和三十八年卒(西城)
池田強	昭和三十八年卒(西城)
小池正之	昭和三十八年卒(西城)
清水和子(野田)	昭和三十八年卒(西城)
塚原通彦	昭和三十八年卒(西城)
渡邊千草(岡田)	昭和三十八年卒(西城)
渡邊俊昭	昭和三十九年卒(西城)
山城建治	昭和三十九年卒(西城)
助政千尋	昭和四十年卒(西城)
田中文男	昭和四十年卒(西城)
花田和教	昭和四十二年卒(西城)
藤本聖壮	昭和四十二年卒(西城)
佐藤八千代(西谷)	昭和四十四年卒(西城)
中村ゆり子(千代丸)	昭和四十四年卒(西城)
福場美和(市岡)	昭和四十五年卒(西城)
奥重秀彦	昭和四十七年卒(西城)
石井美佐子(瀧口)	昭和四十七年卒(西城)
田原英樹	昭和四十八年卒(西城)

氏名の中の()は旧姓

二四年度

総会・懇親会のご案内

十月二十一日(日)

「ホテルゆうぽうと」にて開催

今年度の総会・懇親会を例年通り、十月二十一日に開催いたします。

会場は今年度からホテルゆうぽうとに変更となりました。

母校の校長先生並びに本部同窓会長にも案内状を出しております。

広島弁で仲良く楽しい会になりますよう皆様の参加をお待ちしております。

一、日時 平成二十四年十月二十一日(日)
(受付開始は十一時三十分から行います)

総会 十二時から三十分程度

懇親会 約二時間

二、場所 ホテルゆうぽうと

※会場のご案内は最終ページにあります。

総会は二階・懇親会は七階です。

東京都品川区西五反田八丁目四番十三号

電話〇三―三三九四―六三三九

三、会費 八千円

(但し、女性並びにご同伴の方は六千円です)

※年会費二千元については、当日受付でも承ります。

「東京庄原格致会」の
益々の発展を願って

東京庄原格致会会長
合田 良 三

【略歴】

川北町出身。昭和三十三年母校卒。神奈川大学卒業後(株)みつわ(宝石業界)勤務。

会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げますとともに日ごろは会の活動について何かとご協力賜わり役員一同厚く御礼申し上げます。お陰さまで今年度の総会で三十回を、また「会報」も第二十号の発行を迎えるに至りました。

これも会員の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

私はこれまで同窓会の絆を大切にと育んでまいりましたが、これからは三十回総会を機に絆の更なる深化を求めていると思います。

政治的にも経済的にも我が国全体に閉そく感があるなか国会では消費税率引き上げを柱とする社会保障・税一体改革関連法案の修正協議を通じて民主、自民、公明三党の協調機運が高まってきていますが、これからはこの機運を大切にしたい難局を乗り越えてもらいたいものです。一票の格差、違憲状態からの脱却、東日本大震災からの復興や原発再稼働問題、景気低迷など多くの困難に直面しているのに権力闘争の方が大事なのかと疑ってしまいます。

明るい話題では今年度は東京スカイツリーの完成で東京のランドマークとして世界一高い電波塔が生まれました。この最新式のタワーは日本の伝統的な美意識と最新技術が融合された優美な姿を浮かび上がらせています。

また、横浜市西区に室内では世界最大級の鉄道ジオラマを展示する「原鉄道模型博物館」が七月十日に開館しますが、いずれも世界に誇れるもので機会を作り見学に行きたいと思っております。

世界一と言えば、過日ドバイに旅行し

世界一の高さを誇る「バージュカリファ」ビルに登頂体験しました。ドバイは、ペルシャ湾とオマーン湾に面した七つの首長国が共同して一九七一年に英国から独立した国家、アラブ首長国連邦の一つです。ドバイの面積は奈良県又は埼玉県とほぼ同じ大きさ、人口は約一九〇万人です。

首長国連邦は一九五八年アブダビ沖で続いて六六年度ドバイ沖で石油が発見され、その後ドバイを中心に近代的な発展を遂げます。それ以前は砂漠を遊牧する民族と魚、真珠業を営む人々と二パターンに分かれていました。

一九七〇年代に油田の開発がおこなわれて優雅な国だと私は思っておりますが、現在のドバイ自体は原油の産出量は多くないとの事です。油田発見時に埋蔵量は一〇〇年程度と分かっていたそうです。

砂漠の国ドバイはインドとの貿易で栄えた港町ですが(香辛料が有名)油田に頼らず国を発展維持させるために指導者は不動産と観光を主な柱に国家戦略を立て不動産は海外からの融資に力を入れ、観光は世界からの観光客を集客するためリゾートマンション、高層ビルの建設が今も相次いでおります。何でも世界一をスローガンに開発中で、現時点では世界一の高層ビル、世界一長い無人鉄道(日本の技術協力による)、世界一の噴水ショーと三つをアピールしています。かつての貧しい砂漠の民が世界の注目を浴びる国に発展したのは油田の開発も有りますがトップのリーダーシップに応うものが大きいとのことです。

資源の無い日本は何か習うべきヒントが有るのではないかと感じました。旅行で得た豆知識の一端ですが、これから

体力の有るうちに旅で見聞を広めたい。併せてこれからは格致会の今後の発展に努力しなければと考えております。会員の皆様に一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

「県北二の高校をめざして」



広島県立
庄原格致高等学校校長
三宅 康 生

【略歴】

昭和二十九年三次市生まれ。初任教員広島県立賀茂高校、白木高校に勤務後、県立高校を退職。広島市立基町高校勤務。その後、三次高校の定時制教頭(二年)、日彰館高校教頭(三年)、校長(五年)を経て、昨年度庄原格致高校へ赴任。

百十五年という歴史を考え、どのように学校経営を行うか?昨年度様々な方々とお話をさせていただき、今年度新たな挑戦を迎えています。昨年は東日本大震災があり、あらためて教育を行うことができる校舎・グラウンドがあることに感謝することができ、これからも庄原の地に庄原格致高校を存続させるために職員一同頑張らなければと感じています。また、昨年度は格致高等学校教育振興協議会が発足し、同窓会・PTAの金銭面での御出宝をしていただく中で、在校生への学力向上に伴うご支援を賜りましたことに感謝申し上げます。

さて、県北の中学三年生のこの春の卒業生は、前年度よりさらに六〇人減少しました。県北の各高等学校は、平成二十四年度高校入試において、定員を確保する

ことが益々難しい状況でした。しかし、格致高校は昨年度の入試までは定員を大きく下回る志願者数でしたが、今年度の入試では定員百二十人に対し百三十人の受験者がありました。数年ぶりに定員を確保したこととなります。県教育委員会からも何故格致高校だけが定員を確保できたのかと問い合わせがありました。

地域に信頼され、行きたい学校・選ばれる学校となるべく、職員が格致号という一つの船に乗り、同じベクトルで力を合わせることでできたことがこの結果につながったと考えます。しかし、今後も予断を許さない状況が続きますので、職員一丸となって、庄原市内の生徒だけでなく三次市から多くの中学生が受験してくれる、選んでくれる学校となる努力をしていきます。

昨年度から本校教育の柱の一つに掲げていますが、格致高校といえは「英語力をつける学校」「コミュニケーション能力を高める学校」を県北に轟かせたいと考えます。

今年度も、次の取組みを強化します。

①高校一年生の学力の定着を図ります。

広島県から本年度もチャレンジハイスクールに選ばれています。受験に向け、まず基礎基本を定着させることが大切です。この定着を図る取組みとして、「学びの共同体」という授業形態を取り入れ生徒が主体となる授業の展開を行います。授業において、インプットよりアウトプットできる生徒を育てる。この授業形式により思考力・探求力・応用力がつき、三年時受験に向けて確実な力がつくことと確信しています。

②グローバル社会に対応できる学力をつ

けます。

上級学校へ進むにしろ就職するにしろ、言語活動力をつける必要があります。一年生には、第3回の英検は全員受験とし、二年生以降2級取得者30名以上、準2級取得者65%以上を目指します。昨年度は一年生で準2級以上合格者が17名いました。(以前は一桁の合格者でした)今年度入学生から、二年生での研修旅行はシンガポールとしています。

③三次市内中学生に対し、格致高校の宣伝をさらに強化を図ります。(イベントなど)

④更なるクラブ活動の活性化を図り、生徒と教師がともに切磋琢磨する学校を目指します。

クラブ活動においては、文化部・体育部において小さい学校ではありますが、全国大会・中国大会に出場するクラブがあります。「格致高校を選びたい」「来てよかった」「自分の夢をかなえることができる」「このような学校を目指し、教職員一同頑張りますので東京庄原格致会の方々の温かい御指導・御支援を今後ともよろしくお願いいたします。

「近況報告」

同窓会会長

片山孝昭



【略歴】

昭和三十三年卒。庄原中学PTA会長。四二歳、六五歳まで、六期二三年間庄原市議会議員。議長、副議長、各常任委員会委員長。現在、庄原市地域審議会会長。事業評価委員会委員長。庄原自治振興区連協副会長。

東京庄原格致会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。昨年十一月の総会には合田会長に出席していただき、ありがとうございます。当日は約百五十名出席のもとで盛大に開催することができました。

総会の中で新しい案件として、三宅校長より依頼がありました学力向上の為に「河合サテライト」を活用したので、教材費としての助成の要請がありましたので同窓会から三十二万円の支出をしたところでありました。

教材活用と学校側の努力もあって、学力向上にも少なからず貢献できたのではないかと考えております。

近年では一学年百二十名定員に対して定員割れが続き、昨年は十九名の定員割れでしたが今年は百二十名の定員いっぱい入学でした。これは、生徒募集に各中学校を訪問され、校長先生はじめ先生方が努力されたことが、実を結んだものであります。

それから昨年七月には、同窓会、学校、PTAとで、教育振興を目的として協議会を設立しました。正式名称は「庄原格致高等学校教育振興協議会」であります。早速、要望書を作成して、市長、議長、教育長に提出して要請活動を行ったところであります。その結果、平成二十四年から向こう三年間年額六十万円の助成を受けることができました。

これは教育振興協議会を通して学校側へ渡し、有効に使っていただくものであります。

従って三年間の成果を見ながら、継続について考慮するというものであります。

市内の中学校卒業生も年々減少傾向にあり、平成二十二年から二十五年では約百名減の三百名程度まで減少します。

加えて、都市部への進学傾向が強くなる百八十名近くが進学していくのが現状であります。今後も少子化が一段と進行する中で、一学年三クラスを維持していくことが、極めて困難な状況になってくると思います。

このような現状の中で、県教育委員会は、方針どおり学校統廃合を進めていくものと思います。

同窓会としても、従来のあり方から一歩進めて、学校・PTAとも協力しながら、母校が存続していけるよう一層の努力をしていかなければならないものと思います。

次に庄原市の近況について報告致します。一昨年の集中豪雨による大災害も復旧工事が進み、今年四月には全面復旧致しました。

その時には東京庄原格致会の皆様からも多大なご支援をいただきありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

庄原市も合併以来八年目を迎えました。昨年十月には、人口も四万人を切りました。少子・高齢化、地場産業の衰退、製造業の撤退等で年々六〇〇〇人の減少であります。

このように庄原市も厳しい状況にありますが、自治振興区を中心に地域の事は地域で守っていく事で、活性化を図っていく努力を続けております。

終わりになりますが、東京庄原格致会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。報告と致します。

「東京庄原格致会」 (旧「東京格致会」)の歩み



「東京格致会」は「庄原高等学校・京浜支部同窓会名簿」を基に母校の卒業生と旧職員を会員として三上英雄(明治40年入学)、上原弘衛(大正5年入学)、細川謙三(昭和16年卒)・後藤(旧姓吉

光)獅湊(昭和20年卒)など諸先輩のご尽力により立ち上げられ、第一回総会が昭和57年11月24日に開催され、この秋の総会で丁度三十回目の節目を迎えることになりました。

この間、名称は平成17年の総会で「東京庄原格致会」に変更されましたが、格致学院から格致中学・格致高校・比婆西・庄原そして現在の県立庄原格致高等学校と校名変遷はありながらも、小田源吉先生の建学精神「格物致知」の精神を受け継ぐ母校卒業生が、年一度会い集い、互いの健康を確認し、交遊を深める場として総会は続けられてきております。

会長は、初代の上原弘衛から細川謙三・平田耕司(20年卒)・兼利卓蔵(28年卒)と引継がれ、現在の合田良三(33年卒)が670人余の会員のリーダー役として活躍中です。

総会会場も初回の「大同信用金庫会議室」から「中野サンプラザ」・「山水楼」

「青学会館」・「郵便貯金会館」・浜松町「東京會館(離宮飯店)」・「上野精養軒・日本橋店」と変わって来ております。

会の礎となる「会員名簿」は、昭和58年3月の初版に続き、昭和63年9月1日付け、平成9年9月20日付けで改訂されてきており、平成18年10月に4回目となる改訂が行われています(名簿登載者667人)。なお、卒年別・名前のみの名簿を平成22年9月現在で作成しています。

会員相互の場として「東京庄原格致会会報」が、平成5年9月に第一号が発刊されて以来毎年一回発行されてきており、今回で第二十号の記念号を出すことができました。

この他の会の活動としては、会員同士の懇親の和を広げる目的で立ち上げられた同好会が、現在三クラブ活動しています。ゴルフクラブは平成元年に第一回コン

ペを穴戸カントリー倶楽部で開催して発足、以来原則、春・秋の年二回開催されており、24年3月に第四十五回となるコンペを開催しています。

囲碁同好会は平成12年12月に発足し、会員16名(24年6月現在)で毎月第二日曜日に新宿「喜楽」を常宿として棋力の向上に研鑽しています。

バス旅行同好会は平成15年3月に伊豆修善寺・十国峠、日帰り旅行を参加者25名でスタートして以来、年一回のペースで開催され、24年5月に第十回目となる谷川岳天神平への旅行を実施しています。

これらの同好会には、会員以外にも庄原実業高校卒の皆さんや、会員の家族・友人にも参加いただき盛り上げてもらっており、活動状況は、平成20年10月に立ち上げた「東京庄原格致会ホームページ」を

「東京庄原格致会会報」 記念号(20号)の発刊に寄せて



「東京庄原格致会会報」
創刊号

平成5年9月に「東京格致会会報」が創刊されてから、毎年一回発行され続けてきた会報も、今年で成人式を迎えることになりました。ここに至るには会員の皆様の多大なご協力と歴代の事務局の皆さまのご努力があつたことと改めて謝意を申し上げます。

記念号となる今回は、全面カラー刷りとしたほか、かねてからの字が小さくて読みづらいとのこと批判に添えて新聞並みの大きな活字にしました。内容は、創刊号のページから往時の雰囲気を感じていただければ、また、会の今日までの歩み、更には発足時から今日まで、会の運営にご尽力いただいている諸先輩のなかから、坂井先輩並びに兼利先輩に特別寄稿をお願いしております。これからもこの良き伝統を受け継ぐ一助として、この会報が皆様のご協力によって益々充実していくことを願っております。(会長 合田良三)

通じて、適宜、会員の皆さまに案内・報告をしておりますので覗いてみてください。
(<http://www.tshobara-kakuchi.com>)

会の目的は、「会員相互の親睦を図り、母校との連絡を保ち、その発展に寄与する」と謳われております。

その目的に沿うために母校の課外講座に講師として、これまでに七回、八人の会員を派遣しております。

また一昨年は、母校からの講師派遣要請を受けて、大岩征子(37年卒・旧姓花好)のご主人(道也・オペラ歌手)と落語家の沖上比呂志(平成10年卒・芸名林家ひろ木)に庄原に遠征してもらっています。

これらの活動は平成4年の師走から、「年会費」制度が導入されるとともに「運営基金」が設立され、これに協賛いただく会員の浄財で今日までの活動が続けられて来ております。

「東京庄原格致会」の活動は、少子化

時代の波や個人情報情報の壁のため、会員減少等厳しい試練を受けておりますが、会員各位のより積極的な協力により、より活発な・より良き会になるように、皆さまと共に歩んで行けることを役員一同願っております。【文中、敬称は省略させていただきます】

(幹事長 八谷英樹)

(回想)

半世紀前の「同窓会名簿」

昭和二四年卒

坂井 昌彦



【略歴】

早稲田大学第一文学部卒業。学習研究社にて、雑誌・単行本編集長。文筆業・出版プロデューサー。広島県中学テニス代表(国体)、日本テニス協会公認指導員。東京テニス代表として「ねんりんびっく」等に出場。日本ペンクラブ会員。

わたしの手許に、セピアに変色したB5判一六頁ばかりの小冊子があります。

ガリ版刷りに毛の生えたようなタイプ印刷で、ホチキス綴じの貧弱なものです。これがたいそうな「お宝もの」。タイトルに『庄原高等学校・京浜支部同窓会名簿』(昭和三五年一二月現在)とあり、旧学校名(格致学院・格致中学校・庄原実業学校・格致高校・比婆西高校)が付記されています。これぞ半世紀前の在京同窓会の貴重な資料です。

当時、わたしは出版社に入ったばかりの多忙の編集者で、会には一回しか参加できなかったが、名簿には懐かしい名前がずらりと並んでいます。二二〇人ほどの名前は入会順の掲載らしく、卒業年度が順不同、先輩後輩が入り乱れている。故人の先輩も多いが、今なお元気で活躍中の知り合いの方々も多いと思います。

これをひもといてみると、『支部規約』について《役員一覧》……《支部長》

三上英雄(副支部長) 政本武夫・小林為一(常任理事) 三谷譲・三倉寛一・中原周三・山田達郎・田部幸雄・細川謙三・末信憲三・柳生正荘・田中尚男・酒井久幸・田中茂樹・松本長実・兼利卓蔵・渡部康吉(幹事) 後藤獅湊・陽田重利・山田健太郎・福島正徳・信永利馬・麻田順志・平田小二・岡田剛一・原田百一・光久光一・横山明弘・明賀馨・岡信江・吉光和枝・小野進啓・伊藤兵治・岡本秀昭(会計)・永井岩・後藤獅湊(監事) 竹本忠良・渡辺泰行となっています(敬称略)。

細川謙三さんは、当時は東京銀行営業課長で平成五年『東京格致会会報』創刊時の会長。後藤獅湊さんは大同信金顧問弁護士で、田中尚男(暁出版)さん、渡

辺泰行さんらとともに会を取り仕切り、後に副会長として金森裕雄さんたちと会員名簿の整備・編集(わたしも後藤邸で徹夜して手伝った)。細川さんの前の会長・上原弘衛さん、顧問の永井岩さん、田部幸雄さんのお名前も懐かしい。さらには、当時すでに幹事であった酒井久幸・田中茂樹・兼利卓蔵・山田健太郎・岡田剛一・明賀馨さんたちとは、今でも元気に顔合わせできているのは嬉しい事です(当時は、けっこう活気があったようですね) 現在やや低迷感のある同窓会をどうすれば活性化できるか、とりあえずの(提案)――懇親会(総会)への出席促進(まず返信の歩留まりアップの工夫と年会費の確保)。

「運営基金」(寄付)の積極的勧誘と会報などへのご芳名の公表。

会報の「会員短信」の拡大強化 e t c。(※ちなみに『日本ペンクラブ』会報では六〇字×三〇〇人以上の近況報告がきわめて好評で、さらに増頁を計画中です)。

思い出

昭和二八年卒

兼利 卓蔵



【略歴】
西城町出身、前東京庄原格致
会会長。
明治大学卒業後、株式会社国
際興業勤務。
広島カープファン、古典音楽、
比婆荒神神楽を好み

過ぎてしまえば早いもので昭和年代の一桁最後(10年早生まれ)の生まれも77歳の喜寿を迎え、比婆西高校昭和28年卒業生の祝いを庄原市在住の皆さんが主になり、昨年6月26日かんぽの郷庄原で行われま

した。全国に居る同期生に参加のお誘いがあつた様ですが色々な都合や体調を崩された方が欠席され、参加者は43人でした。関東地方からは上林君と私が参加致しました。私は会社勤めの時は仕事柄殆んど比婆西28年卒同期会には参加致しませんでしたが退職後や東京庄原格致会の会長時には何回か皆さんにお会い致しています。しかし、後期高齢者の部類に入れば自分の体力等に段々と自信が薄れるものと考え、今回は違った意味で青春時代を想い出し、本当に参加させて頂き幹事や参加者の皆さんに感謝します。また散会時の朝、参加者が互いに次回は傘寿に皆さんで元気で再会を願う家路に向かいました。

振り返りますと私共は昭和16年4月から学校教育を受け始め、国民学校・新制中学校へと、この間大きな戦禍に遭い、敗戦から復興へと幾多の大きな出来事に合い、同時に都会育ちの人達はもとより色々な人々と出会って来ました。実家は備後西城駅の近くで幼少の頃からその辺りが遊び場になっていました、しかしその列車に乗って旅行等を行った事はそう有りませんでした。本格的に、この列車を利用して出たのは昭和25年春、比婆西高校(現庄原格致高校)へ入学を許されてからです。あの頃は現在の状況と異なり通学列車は非常に込み合い西城から庄原まで座席でゆつくりとは行きませんでした。又許される事ではないのですが列車の発車時間に間に合わず飛び乗りをした事もありました。通学時には下駄履きで布カバンに少々の本とノートを入れ、三日市駅下車で田んぼ道を通り松原原頭(そびえる備北の伝統校を目指したものです。あの西校舎は昭和25年12月20日の校舎全焼で悪夢を見たように思い出しま

す。平常どおりの登校で行くと先生をはじめ生徒全員が落胆していたのを思い出します。あの音楽の中村哲二先生が一人で大きなピアノを担ぎ出されたとか・・・、当時はこの様な先生に指導を受け幸せだったと心に残っています。

その後は東校舎(現・庄原実業高校)で高校時代を卒業まで世話になりました。段々と同期の皆と打ち解け、特に汽車通学の人々とは通学時にはよく仲間内として行動を共にしたものです。午前中は弁当を食い、帰りには新道辺りの映画館等でたむろしていたものです。しかし彼らは学業には手抜きしておらず何時もトツプで目標計画を持っていた様です。何時も勉強するのやら、不思議でならなかった。この東校舎での思い出は現在の玄関と違うと思いますが進学組と就職組に分かれ、私は学業成績と家庭の都合にて就職組でした。その為に部活で自然科学部に入り地学の先生の指導を受け、数人の部員と夜間星空を見上げて学校の位置観測と称して一泊した事を思い出します、結果は忘れしました。私はこの高校時代に得たものは人生の基本を教えられて来たと思います。最後の思い出は進路についてそれぞれの担当の先生方はわれわれの為に一生懸命指導をして下さいましたにも拘らず、小生の如き者が先生の意を汲めず、多種の事情により方向変更を致し、結果的に恩を仇で返したようになりました。今は先生方に深くお詫び申し上げたい気持ちで一杯です。当時を思い出し、現在を思うに比婆西(現庄原格致)高校時代より恩師の指導を受け、素晴らしい同期生に恵まれ過してこれた事に深くお礼を申し上げます。これも人生の一ページかと。

会員だより

引越し・引越しの現役時代

三五年卒

清水 正志

【略歴】

卒業後、山九株式会社に入社、広島支店配属その後福山(五十年から)・君津(五十八年から)・東北(平成四年から定年まで)各支店に勤務。

皆さんも多かれ少なかれ、引越しを経験され、なかには私より多く引越しされた方もおありと思います。私は独身の時から自分の意思とは関係なく引越しをして来ました。格致を卒業し広島で就職横川に住みましたが僅か六ヶ月で宇品に、その後住吉町、庚午、河原町、等々平均すると約六ヶ月毎に引越し実に十四回も引越ししていました。

結婚する前呉市阿賀町に住んでいた時の事です、六月頃土曜日に庄原に帰省し、日曜日に阿賀町に帰った日、丁度その日、呉地方を大型台風が直撃、数ヶ所で崖崩れや停電が起こっていました。呉駅まではバスで帰れたものの、それから先は電車・バスが止まり阿賀までの七、八キロを歩いて帰らざるを得ませんでした。住んでいた家の周辺は膝の高さまで浸水しており家に入って見ると床上まで十センチ位の高さまで浸水した事等がありました。

昭和四十二年に同じ庄原格致高校

三十八年卒業の妻と結婚し、住んだ所は広島市の庚午で約二年後宇品に、更に佐伯郡五日市町に引越しをしました。広島カープが念願であったリーグ優勝した五十年福山支店・五十八年千葉県の君津支店・平成四年福島県郡山市の東北支店に転勤。東北支店で定年を迎え、現在の千葉県袖ヶ浦市に引越し、丁度十度目でした。引越しに伴い、妻にも子供達にも心身ともに苦勞をかけた事と思います。



苦楽を共にされた奥様と筆者

子供達は小学校・中学校とも数回転校せざるを得ませんでした。妻にいたっては引越しの準備・片付け・子供達の転校手続等々一人で大変だったと思います。ただただ「感謝」ありがとうございます。しかし思い浮かびません。本当にありがとうございます。

各地で色々な体験等しましたが、特に印象に残っていることを二つあげてみると、一つは安全を担当していた時、勉強のため九州電力玄海・東京電力福島第二原子力発電所に行き、その時目にした使用済み核燃料貯蔵プールの水の色、エメラルド・グリーン色の鮮やかさです。昨年の東日本大震災で福島第一原子力発電所が大変な事になっていますが、貯蔵プールの水の色はどうなっているのか、多分濁りくすんだ色になっているのだらうと思ったりしています。もう一つ

は東北支店にいた時のことです。十二月初旬、郡山からラーメンと蔵の町で有名な会津喜多方市に行った時の事です。郡山を出た昼頃より雪が降り始め、猪苗代湖あたりで積もりだし、喜多方市で仕事を終えた四時過ぎには激しく降っていました。郡山に帰るには会津若松市を経由しますが、いつもですと二十分位かかる所、地吹雪のため五、六メートル先が見えず一時間半かけてやっと着いたものの大渋滞でなかなか進まず、雪が納まり猪苗代湖畔が見渡せる所にたどり着き目に入ったのは、はるか彼方までの車のテールライトでした。郡山に帰り着いた時は十二時をまわっており、いつもでしたら一時間少しかかる所、七時間位かかってしまいました。二度と経験することは無いと思います。

引越しもうすることは無いと思いますが、妻と二人だけの現在、のんびりとした生活をしようと思っています。

「新幹線とともに」

四八年卒

田原 英樹

【略歴】

出身地 甲奴郡総領町亀谷
昭和五十四年 広島工業大学機械工学科卒業
昭和五十四年 国鉄新幹線総局就職
昭和六十二年 JR東海新幹線鉄道事業本部



皆さんは、新幹線の愛称として呼ばれている「のぞみ」「ひかり」「こだま」の由来をご存じでしょうか？

「ひかり」と「こだま」は東海道新幹線が開

体がよろこぶ!

「効く」漢方の正体

薬剤師 恵木 弘著 (株)東洋薬行社長 定価 1050 円 (税込)

例えばカゼに効く葛根湯、10社以上から同名の商品が出ているが、品質は千差万別。当然、効果もまちまち。漢方生薬の品質を40年以上研究してきた筆者が、今まで誰も語らなかった、知らないと損をする「効く」薬の選び方を指南する。

お求めはアマゾン(www.amazon.co.jp)かお近くの書店まで

洋光繊維株式会社

代表取締役

木村 貞寧

(昭和25年卒)

〒130-0004 東京都墨田区本所4-9-10
電話 (03) 3623-3176

業する前、当時の国鉄が一般公募して人気の高いものを選んだそうです。「のぞみ」は、国鉄がJRになった後、公募して選んだのですが、選考委員の一人であった作家の阿川佐和子さんが、最終選考に残った「太陽」と「希望」から「希望」の大和言葉である「のぞみ」を推薦し、選ばれたそうです。

新幹線の列車名は、他にも九州新幹線の「みずほ」「さくら」「つばめ」「東北・山形・秋田新幹線の「はやて」「こまち」「つばさ」「なすの」「やまびこ」「上越・長野新幹線の「あさま」「とき」「たにがわ」といろいろ揃っていますが、それぞれ名前の由来はあるようです。なお、列車名は通常、各駅停車は「こだま」と言うように車両の形式と停車駅等により決まっています。

自己紹介が遅れましたが、2年前から東京庄原格致会でお世話になっていきます田原と申します。

新幹線の名前を紹介しましたが、新幹線と私は仕事の関係で長い付き合いとなっています。昭和48年に庄原格致高校を卒業後、大学を経て、当時の国鉄に就職して以来、新幹線の検査担当、運転士、指令等を担当してきました。今も、JR東海でコムトラックという新幹線の運行管理システムの設計・開発を行っています。

途中で国鉄からJRに変わりましたが、五十台後半の現在に至るまで新幹線関係で仕事をしてきました。

家庭の方は、千葉県の北西に位置する流山に居を構え、妻と娘二人で生活しています。

今のシステム関係の仕事柄、日進月歩で進化していく技術と格闘する毎日で、脳細胞の衰えにもめげず、携わっているプロジェクトの進捗を気にしながら、若い世代を育てるための教育指導など、多忙な毎日を過

ごしています。

少々硬い話になりますが、昨年7月、中国で新幹線の衝突事故が発生し死傷者が出ましたが、日本の新幹線は開業以来大きな事故は発生していません。日本の新幹線の安全性は鉄道開業以来の技術の積み重ねの上に立つものであり、常に改良が重ねられた結果として、世界一の安全性を評価されています。仏を作って魂を入れずと言う諺がありますが、鉄道のような複雑なシステムになると、故障や事故が発生した後の復旧がスムーズにできるかどうかについては、装置の性能や信頼性も重要な要素ですが、個人のノウハウによる対応が重要となる事が多く、それがシステム全体の信頼性につながるのではないかと思います。

これから、リニア新幹線を含め各地の新幹線の鉄道網も拡張され、九州から北海道まで新幹線で行くことができるようになります。その後開発されていくこととなります。世界に誇る鉄道の技術を今後とも維持していくためにも、若手の育成に力を入れる事が大切であると思います。庄原格致高校の在校生や卒業生の方にも、将来の仕事として選択肢の中に鉄道を候補としていただく事を期待しています。

最後に、東京庄原格致会は毎年、10月に総会を兼ねた懇親会を行っています。又、各地の支部も定期的に総会を行っています。最近、若い方の参加が減っており毎回開催の度に平均年齢が上昇する傾向が見られるようです。各支部に所属される卒業生の方は、世代を超えた交流を深めるため参加をしてみたいかがでしょうか。

【会員の活動取材報告】

頑張っています

庄原でゲストハウス開業



迫田さんと奥様(玄関前で)

当会の四一年卒の迫田秀明さんが、定年退職を機に故郷庄原市大久保町で、築百年余りの実家を改造して、ゲストハウス「welcome さこちゃん・ち」を開業されたこと聞き、六月三日所用で帰省した折、取材してきました。

山に向かって田植えの終わったばかりの棚田が続くのかで懐かしい田園風景の中の細い道を登って行くと「さこちゃん・ち」はありました。点在する家と外観はまったく変わっていません。玄関で主人の迫田さんと奥様の千佐子さんに出迎えられる、大きな吹き抜けのあるリビングに通されました。広い窓からは遠く勝光山や吾妻山などの中国山地の稜線が見渡せる素晴らしい眺めです。

奥様の手作りの美味しいチーズケーキをいただきながら、迫田さんからここに至ったお話を聞き、家の中を案内してもらいました。

J E W E L E R
miwa

東京都中央区銀座6-7-2
TEL. 03-3572-5011
<http://www.miwaj.com>

株式会社 龍 寿司

代表取締役 椎名 喜多子

(旧姓 室伏) (昭和27年入学)

東京都中央卸売市場内・1号館

TEL/FAX 03-3541-9517 営業時間/午前6:30 ~ 午後2:00
TEL 03-3547-6894

(予約はお受けしておりません。日曜・休日等市場が休みの日は休業致します。)

お風呂とお手洗いはきれいに改装された他、客室は座敷をできるだけそのまま残し、懐かしい田舎のお屋敷として気軽な気持ちで過ごせる場としてよみがえらせたということです。

迫田さんは『お使いになるそれぞれの方に開発していただくような形で、私たちが「おいで」「おいで」とお誘いさせていたいただいた方のみ、一日一組(団体)限定でお受けすることにしました』と抱負を語られていました。

会員の皆様、帰郷の折には是非一度訪れてみては如何ですか。電話等での予約が必要です。詳しくは直接左記にご連絡ください。

電話・FAX 〇八二四(七二)三八三〇

Eメール h-sacoda@mbn.nifty.com

(事務局 寺川)

「第十一回押花芸術展」をみて

三八年卒の渡邊千草さんの出品された押花展が三月二七日(日)に東京都足立区千住ミルデイス一番館二階シアターギャラリーで開催されました。バラの花を中心にちどり草、くずのつるなどブーケ調に美しく仕上げられており「佳作」に入選されました。渡邊さんは現在、押花インストラクターとして活躍されております。

(事務局 花田)



会場前にて表彰状を持った渡邊さん

「写博会 MARO」をみて

四〇年卒の助政千尋さんの写真展が二月一二日(日)に神奈川県海老名市市民ギャラリーにて開催されました。

会員一三名の四三点が展示され、いずれも迫力がありました。

今回のテーマは「輪・話・和」、助政さんは「写想心相」の心で三点出品されておりました。

特に阿波踊りの娘さんの表情豊かな踊り姿が印象的でした。



作品をバックに助政さんと同期の花田さん

(事務局 花田)

母校だより



写真部作品集

「Finder」が出来た

庄原格致高校写真部顧問

田村 繁美

念願の写真部作品集ができた。前任校の三和高校でも11年間の活動のまとめとして「一瞬のときめき」を発刊したが、今回格

致高校写真部12年間のまとめの写真集をつくるパワーがあるかなと自問していた。たまたま東京から二人の卒業生が帰ってきていて積極的に協力してくれ始めて、3月になって発刊の見通しがついた。年度末に、私が再任用で再び格致高校に留まれる条件が生まれたのも大きかった。

5月4日に出版祝賀会を開く予定で、2・3日前に出来上がってきた写真集を見て愕然とした。モノクロのページのグレーが強く、黒と白のメリハリがまったく冴えないもので、私も印刷原稿づくりや編集にあたった卒業生にも到底納得できるものではなかった。でもゴールデンウィークの出版祝賀会は50人ぐらいで楽しくやった。卒業生たちはしぶしぶ本意ながら何冊かづつ買って持って帰った。私は刷りなおしてもらって手元に送り届けることを卒業生たちに約束した。その後、装丁の面で本の背中の糊が本の厚さに対応できない不良品でもあることも判明し、印刷屋さんには千部すべて作り直し、すでに写真集をおろしていた庄原・三次・広島の本屋のものは新しいのがほしい印刷屋さんの手で取り換えられることになった。

一ヶ月して今度こそ私たちの満足いくものが出来上がってきた。この一ヶ月は大変苦しい毎日だった。売れてもブレゼントしてもなさけなかった。しかし、今しつかりとしたきれいな印刷で出来上がってきた写真集を毎晩めぐりながら喜びにひたっている。良いものができた。元気を出してこの本をたくさんの人に見てもらいたい。それができよう、普及活動ががんばろうとあらためて思っているところである。

そうしていたら、あまり期待はしていなかったのだが、北海道の写真甲子園大

創業33年



二階堂調剤薬局グループ

ま え の 薬 局 本 店 二 階 堂 調 剤 薬 局
ま え の 薬 局 北 口 店 大 山 調 剤 薬 局
ま え の 薬 局 南 口 店

代表取締役 薬剤師

石 井 美 佐 子

(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

東京都板橋区南常盤台 1-30-21

TEL 03-3958-9955



時代絵巻「東城のお通り」

五一年卒

庄原市川北町在住

西田 英司

【略歴】

昭和五五年大学卒業後、故郷に帰り庄原市役所に勤務。現在に至る。川北町在住。



会の中国地方代表との嬉しい知らせが来た。メンバーは、1年西村陸斗・2年三嶋勇吾・3年倉谷朱梨の三人。5年ぶり4回目の出場である。勝負はまったくない。楽しく撮らせて、北海道東川・美瑛・富良野での写真バトルを楽しんでいた。



出来上がった写真集の表紙



大名



華童子(はなわらべ)

現在の庄原市は平成17年3月31日に庄原市・西城町・東城町・口和町・高野町・比和町及び総領町が合併し、当時全国自治体の中で11番目に広い面積となる「新・庄原市」が誕生しました。

合併によって一つの市となりましたが、各地域には合併以前から今日まで引き継がれている多種、多様な町並み、文化的行事などがあります。私も合併するまで知らなかったものがたくさんありました。今回、このような寄稿の機会を頂きましたので、その中の一つで秋に東城町で行われる勇壮かつ煌びやかな時代絵巻「東城のお通り」を紹介させていただきます。

東城町とは、「城下町で造り酒屋やお菓子屋さんなど古い建物が並ぶ街並みと秋の紅葉で燃える帝釈峡」というのが合併するまでの個人的なイメージでした。しかし「お通り」を始めて観て新たな東城町を知ったのです。

この「お通り」の由来は、慶長5年(1600)の関が原の戦いで毛利氏側が敗れた後、広島藩主福島正則の家老の一人である長尾隼人正一勝が東城五品嶽(ごほんがたけ)城主に任命され、関が原の戦勝を記念して家来を率いて東城の地にやってきた軍勢を再現したものと伝えら

れています。

イベント開催時期は、毎年11月3日(文化の日)ごろに開催され、東城小学校を出発し「三楽荘」がある東城市街地(街道東城路)を廻って東城小学校に帰るルートを歩いて行進します。

「お通り」の先頭はお殿様が家来を引き連れての大名行列、続いて地域の若者が鎧兜に身を包んでの武者行列が練り歩きます。途中、三楽荘前の広場では休憩に合せて寸劇が披露され、お殿様と家老とのユーモラスな会話が取り交わされます。勇壮な行列の後は、煌びやかな母衣(ほろ)行列が続きます。この母衣は、きれいな布で覆った籠に武者人形や山茶花(さざんか)の花飾りを飾り付けてあり、小学生たちが背負って歩きます(写真参考)。最後の行列は、小さな女の子がかわいい衣装を着飾って歩く華童子(はなわらべ)へと続きます。

紅葉が映える秋のすがすがしい季節の中、城下町東城の街並みで開催されるこの「お通り」は、総勢約100名によって繰り広げられ、まさしく現在の時代絵巻です。当日には写真愛好家を始め県内外から多くの観光客が訪れる一大イベントとなっており、帝釈峡の紅葉狩り・小奴可周辺ののりご狩りなどの観光地巡りと合わせて是非、お越しください。

「お通り」公式ホームページ等もありま



母衣(ほろ)行列



地酒は郷土の誇り

比婆美人

当社の商品は広島ブランドショップTAU(銀座一丁目)でお求めいただけます。

比婆美人酒造株式会社

代表取締役社長 山本 修三

〒727-0021 広島県庄原市三日月町232-1

TEL 0824-72-0589 FAX 0824-72-8066



庄原さくら温泉

かんぽの郷 庄原

〒727-0004 広島県庄原市新庄町281-1

TEL.0824-73-1800 FAX.0824-73-0100

<委託運営会社> 株式会社サンヒルズ庄原

社長 長谷部 泰士(昭和48年卒)

同好会だより

すので「東城町のお通り」で検索してみてください。
※なお写真は東城町商工会より提供いただきました。

「ゴルフ同好会」

勘違い！…優勝から

ブービーメーカーへと転落

四五年卒 福場 美知留

平成24年3月23日(金)、第45回ゴルフコンペが開催されました。

今回の会場は、神奈川県下最大のチャンピオンコース「大厚木カントリークラブ」本コースです。

前回、優勝の栄誉に輝いた私はトロフィーを抱えて意気揚々、今大会に参加しました。

「大厚木カントリークラブ 本コース」は距離が長く、女性がレギュラティで回るのは無理がある！

とのアドバイスを受け、レディースティでスタートしました。ところがこの1ホール目がなんと「バー」。

私の心の中で「これはまずい！今回優勝したらまた幹事だ」との考えが頭をよぎりました。

「やはりレギュラーでやらせて頂きます」と背伸びして2ホール目からはレギュラティに変更しました。

スタート後、ポツポツだった雨が本降

りになり、寒くなってきました。

レインウェアを着てのスウィングは何とも動きが鈍く、思ったように飛ばりません。そう言えば、私は雨の中でコースを回ったことがほとんど無かったのです。プライベートでは、雨の予報だと予約をキャンセルするほど雨嫌いの私です。ティーショットだけはボールが浮いているので満足な当たりでしたが、あとは散々：アプローチはザツクリかトップ。さらにグリーン上ではあっちへ行ったりこっちへ来たり。疲れてホールアウトしてみると、何と、何と、ブービーメーカーではあります。

せんか？(いわゆるビリ！！)

スタート時の鼻息はどこへやら？ 意気消沈・・・。

しかしよく考えて見ると、前回の優勝も実力というよりは、ハンデの賜物。

優勝のせいで今回のコンペではハンディーが少なくなり、おまけに雨。

本物の力を持ち合わせていないことを痛感した一日でした。そんな中、悪天候にもめげず見事に優勝されたのは、岩竹康良さん。多くの方が雨の中でスコアを崩す中、グロス95という好スコアで回られました。

準優勝は横山隆視さん、グロス94のスコアはお見事です。そして第3位は森沢進さんが獲得されました。ベスグロ賞はベスグロ常連の亀井勲三さんが93のスコアで



スタート前全員で

受賞です。皆様、おめでとございました。プレー後のパーティでは、上記入賞の他、ラッキーセブン賞やドラコン、ニアピン獲得者も発表、入賞者の喜びのスピーチが披露され、(私に悲しみのスピーチは求められませんでした・・・)楽しいひと時を過ごすことができました。

「バス旅行同好会」

第十回親睦バス旅行

『温泉と谷川岳の展望を楽しむ！』

三八年卒 渡邊 千草

天候不順が続く私達の頭を悩ませていた天気も、参加者の日頃の行いが善いため、五月二十六日当日は朝から快晴に恵まれ、出発前から楽しい一日になることが約束された感じでした。

八時半、定刻に十六人の参加者を乗せて新宿西口を出発。

練馬ICから関越道に乗り、高坂PAで小学校四年生のお孫さんを同伴された花田ご夫妻と八谷先輩の四人が加わり二十人のメンバーで目的の水上温泉に向かいました。

渋滞もない快調な道中、水分(ビールや焼酎など)の取り過ぎからか(？)、数度のトイレタイムを取りながらも予定時間を三十分も早く昼食会場のホテル「水上館」に到着。

玄関で全員の集合写真の撮影 ハイポーズ。

小休止の後、豪華な昼食、各自のペースで水晶風呂や牧水の湯でのんびりと温泉を楽しみました。

眼下には清流、美しい新緑を眺め、身も心もリフレッシュ出来ました。

十四時前にホテルを出発して、最終目的地の谷川岳ロープウェイ乗り場までの二十分を、現役時代に水上温泉に遊んだことのある生田先輩のガイドで予備知識完了。

ロープウェイは3分間隔の運転で、待つまでもなく全員一台に乗り、標高1319メートルの天神平まで、雪におおわれたオキノ耳・トマノ耳の双耳峰に代表される谷川岳や周囲の雄大な山々の眺望を楽しみながらの十分余の空中散歩。

一時間の自由行動となり、中には標高1502メートルの天神峠までリフトを乗り継ぐ人もありました。

食彩館しょうばら

ゆめさくら



〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291 - 1

TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-84422

URL : <http://www.10.ocn.ne.jp/~yumesaku>

支配人 堀江 光治 (旧姓: 深川) (昭和46年卒)



旅の華美女四人(左から)村上さん・川野さん・渡邊さん・花田さん

無事、事故も無く終了出来ました。バス旅行幹事として改めまして御礼申し上げます。本当に有難うございました。次回も多数のご参加をお願い申し上げます。

天神平には沢山の残雪が有り、無料貸し出しのゴム長を履いて戯れていました。五月の終わりに残雪を観て、遊べた事は良い思い出になりました。

山頂での眺望を楽しみ過ぎて予定時間を少々遅れての帰途となりました。

帰りのバスの中は恒例のカラオケ大会となりましたが、ここでも日頃の行いの善さから渋滞のない順調な道中となり、順番が回らないという嬉しいような悲鳴も上がりました。

途中、高坂PAで八谷先輩、花田ご夫妻、お孫さんが降りられた後は多少の渋滞は有りましたが、予定時間を少し過ぎての到着となりました。

今回は、最終実行ラインの二十名の参加者を集めるため、助政幹事には大変なご苦労を戴きました。

皆様方のご協力とご理解のお蔭でバス旅行が実行出来、女性陣四名とお孫さんのご参加で、賑やかに、楽しい一日を過ごさせて頂く事が出来ました。

【囲碁同好会】

「深慮遠謀」の考察

三十七年卒 新山千樫



残雪を背景に(天神平)



昼食会場のホテル前にて

ずく年会費だけ納めて顔を出さない：隠れ格致会員であった。ある時、初代事務局長だった近藤正昭さんが東京西城西の総会で同好会への勧誘スピーチをされた。半年ばかり経ってふと思いつき、ほんの見学だからと「一日体験」と称して覗き見したのが運の着きとなった。トイレのタイルが碁の盤面に見える幻影に取り付かれて久しく、今では碁会に向かう湘南新宿ラインの中で、新参者のくせに「今日の戦績は如何なものか：」などと一丁前に胸騒ぎ症候群に陥っている。

会は型どりの朝礼が終わるとすぐさま組み易い相手を見つけて対局が始まる、誰とて初戦は幸先良く勝ちたいものだ。と同時に缶チューハイ、ビールなどもあり、空いているはずの左手も休んで

はいない。自分は頭とアルコールが弱いのもつばら「おーいお茶」にしている。遠方から来た人はいきなり「おにぎり」にも手が出る、様々である。挨拶はしつかり、お行儀は「ややゆる」と聞いて安堵している。

新米の自分が一番驚いたのは「酔拳」ならぬ「酔碁」の達人がいた事で、呑む程に調子が出て来るのだが最後には手元もロレツもかなり怪しげになる、頃合いを見計らって挑戦してみるがやっぱり負けてしまう自分が実に情けない。もしかして達人のアルコール分過多の鼻息にやられて居るのかも知れない。

入会して二年になった、優しく手厳しく先輩に可愛がられている。お蔭でヘボ碁六級ぐらいたったのが、何とかやと上級に手が届くぐらになってきたのが自分でも嬉しい。いつしか色々な人と打つ事の楽しさの虜になってしまった。

しかし一日五、六人の有段者ばかりの猛者と真剣に戦うので、体力、知力、運までも徐々に消失して夕方近くになると身体の弱い自分ではや確実に形骸と化している。先輩からは対局後のケアが大事だと教えられ、反省会への誘いを断れなく、焼き鳥の魅力にも惹かれ、体力回復を第一に：と努めている。

囲碁を通して人生を教わり、自分でも何かを掴もうと必死に努力する、そんなエネルギーを感じ合っている時を過ごす。勝敗を超えた価値観がここにはある。

そんな事を思いつつ今日もまた白石の反撃に怯えながら黒石を握っている…。

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 八王子装建

代表取締役 西谷光徳 (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市市安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL: <http://www.h-soken.com/> E-mail: nisitani@h-soken.com

恋愛運・結婚運・仕事運・金運・・・

「運」は、人間には及ばないチカラ

そのチカラを身に付けられる具体的実践方法をお伝えいたします。

遠方でも相談OK

結婚～人生の様々なイベント企画、演出をナビゲーション

オーダーメーモリアル・コーディネーター

アンティーク Andtieku

代表 坂井 恵美子 (昭和45年卒)

〒730-0029 広島市中区三川町4-14 テルヤビル 2F

TEL 082-248-3737 FAX 082-248-3200

E-mail: shiawaseohen@andtie.com URL: <http://www.andtieku.com>



・JR「大崎駅」西口徒歩約7分

東京庄原格致会役員名簿（二三年一〇月二三日）

謹んでお悔やみを申し上げます。

www.cresco-ars.co.jp



 中央区銀座1-6-10
 銀座上ビルディング
 Tel. 03-5579-9952

広島ブランドショップ「TAU」《たう》
7月16日銀座にOPEN!